

HIV 検査・梅毒検査について

- いずれの会場も HIV 検査と梅毒検査は同時検査(採血)です。どちらか一方の検査はできません。
- 仙台市の HIV 検査は、いずれの会場も「第 4 世代試薬(HIV 抗原・抗体同時検査)」を使用しています。

◆HIV 検査・梅毒検査を受ける時期について

- HIV 検査:HIV に感染しても感染初期には血液中に抗体やウイルスが検出されない時期(ウィンドウ期)があります。このため、この感染初期に検査をすると、感染していても検査で陰性となることがあります。感染する可能性があったとき(感染機会)から 12 週間(約 3 ヶ月)以内に検査を受けた方は、念のため 3 ヶ月経過後の再検査をお勧めします。
- 梅毒検査:感染したと思われる日から約 4 週間後に血清反応が表れますので、4 週間以上経過している必要があります。

◆HIV 即日検査・梅毒即日検査について

- HIV 即日検査の結果は、「陰性」または「判定保留」でお返しします。
HIV 即日検査では、検査の性質上、200 人に 1 人程度の割合で、感染していなくても判定保留となることがあります。そのため、判定保留となった場合にはより精度の高い方法で追加・確認の検査を行います。その結果は後日(検査日から概ね 2 週間後)再来所していただきご本人にお知らせします。
- 過去に梅毒の治療歴がある場合、一般的に梅毒即日検査では陽性と判定されます。

【令和 6 年 4 月仙台市保健所】